

JENDL-3以降の計画検討小委員会 第1回会合議事録

日時 昭和60年12月25日(水) 10:00～12:00
場所 原研東海研研究2棟221号室
出席者 五十嵐信一, 片倉純一, 中川庸雄, 長谷川明, 水本元治(原研)
吉田正(NAIG), 中沢正治(東大・工)

配布資料

- ① JENDL-3以後の計画検討事項(案)
- ② 同上添付資料“データ要求の現状と作業計画”

議 事

1. 経緯説明他

本小委発足の経緯および委託された検討事項とか検討上の諸条件につき五十嵐室長より配布資料①, ②を用い説明された。

又, 各委員の自己紹介が行なわれた。

2. 検討の進め方について

JENDL-3以後の核データ活動およびJENDLの位置づけについて検討するため, 以下の項目を調査していくこととした。

- ① 関連各分野の動きと核データとの関連
 - 軽水炉 …………… 石黒室長(五十嵐氏)(高燃焼化を含む)
 - 高速炉 …………… 吉田委員
 - ガス炉他
 - 燃料サイクル …………… 片倉委員
 - 加速器 …………… 水本委員(荷電粒子データも含む)
 - 核融合炉 …………… 中沢委員
 - 原子分子データ関係… 村田氏(吉田委員)(レーザー濃縮, プラズマ診断の分野を含む)
 - その他解体技術, 放射線利用, 医療の分野
 - 原子力全体の一般状勢

② 従来の JENDL 活動の経緯と課題の調査

本件につき五十嵐室長より概略説明がなされ、評価活動の原動力は“高速炉開発のために必要”という点にあったこと、諸価者は Volunteer であったこと、JUPITER 計画とか FNS の日本協力などの緊急課題解決が要請され対応してきたこともあること、JEF などとの関係、米国との関係より国際協力への対応が課題となっていることが説明された。

③ 一般的な観点からの意見調査

飯島氏 (NAIG)、松浦祥次郎氏 (原研)、瑞慶覧氏 (日立)、木村逸郎氏 (京大炉)

などより従来の活動の反省、今後行なうべきことについて意見を伺うこととした。

3. その他、今後の会合予定

1月24日 (金) (東海研)

- (1) 軽水炉 石黒氏
- (2) 高速炉 吉田氏
- (3) 燃料サイクル 片倉氏
- (4) 飯島俊吾氏の御意見

2月17日 (月) (東海研)

- (1) 加速器 水本氏
- (2) 松浦祥次郎氏御意見
- (3) 核融合炉 中沢担当
- (4) 瑞慶覧篤氏の御意見

3月10日 (月) (東京)

- (1) 原子分子データ関連 村田氏 (NAIG)
- (2) 木村逸郎先生の御意見
- (3) 中間報告の検討
- (4) その他